

〔目次〕

	ページ
2019年3月期 第3四半期業績……………	1
2019年3月期 通期見通し……………	3
業績の推移(連結)……………	5
会社概要・事業構成・当社の強み……………	6
基本方針・中期戦略……………	7
事業内容……………	8
主なページへのリンク……………	9
IRお問合せ先……………	10

前年同期比で若干の減収・大幅減益

連結売上高:「紙・紙加工品」において、新子会社の業績算入効果があったものの、「選挙システム機材」で衆議院選挙が実施(2017年10月)された前期需要の反動減の影響を受け、若干の減収となりました。

第3四半期決算短信

連結純利益: 自社開発商品である選挙システム機材の減収の影響により全体の利益率が低下し、大幅な減益となりました。

(百万円以下切捨)

連 結	2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017年4月~12月)	2019年3月期 第3四半期累計実績 (2018年4月~12月)	差 異	増減率
	売 上 高	269億1800万円		
営 業 利 益	8億1800万円	△3900万円	8億5700万円減	—
経 常 利 益	9億 100万円	2500万円	8億7600万円減	97.2%減
純 利 益	6億3300万円	△1400万円	6億4700万円減	—
1株当り四半期純利益	85円06銭	△1円94銭		
	衆議院選挙実施	国政選挙なし(地方選のみ)		

*「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「純利益」と表記。

(百万円以下切捨)

単 体	2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017年4月~12月)	2019年3月期 第3四半期累計実績 (2018年4月~12月)	差 異	増減率
	売 上 高	230億9400万円		
営 業 利 益	3億8400万円	200万円	3億8200万円減	99.5%減
経 常 利 益	5億2600万円	6300万円	4億6300万円減	88.0%減
純 利 益	4億6900万円	1億 900万円	3億6000万円減	76.8%減
1株当り四半期純利益	63円03銭	14円70銭		

事業別実績対比

連結

(百万円以下切捨)

		2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017年4月~12月)	2019年3月期 第3四半期累計実績 (2017年4月~12月)	差異	増減率
情報・印刷・産業 システム機材	売上高	153億5700万円	155億7900万円	2億2200万円増	1.4%増
	営業利益	△2億9900万円	△2億3600万円	6300万円増	—
金融汎用・選挙 システム機材	売上高	55億5400万円	37億200万円	18億5200万円減	33.3%減
	営業利益	10億2900万円	1億2500万円	9億400万円減	87.9%減
紙・紙加工品	売上高	58億5500万円	73億1600万円	14億6100万円増	25.0%増
	営業利益	△1500万円	△4300万円	2800万円減	—
不動産賃貸・リース 事業等	売上高	1億5100万円	1億7800万円	2700万円増	17.9%増
	営業利益	1億100万円	1億1400万円	1300万円増	12.9%増
合 計	売上高	269億1800万円	267億7600万円	1億4200万円減	0.5%減
	営業利益	8億1800万円	△3900万円	8億5700万円減	—

● 情報・産業システム機材 (連結):

マイクロフィルタなどの高機能材料の販売は概ね順調に推移しましたが、文書のデジタル化事業が官公庁・自治体からの大型案件の減少により低調に推移しました。
機材分野全体では前年同期実績を若干上回りました。

● 紙・紙加工品 (連結):

- ① 医療品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け、低調に推移しました。
- ② 新子会社エム・ビー・エス(株)(2017年9月子会社化)における感圧紙の販売は需要減少の影響を若干受けたものの、業績算入期間の増加により増収となりました。
以上の結果、セグメント全体では前年同期実績を上回りました。

● 印刷システム機材 (単体):

印刷材料の販売が低調に推移したほか、機器の販売が需要低迷の影響で落ち込み、前年同期実績を下回りました。

● 金融汎用システム機材 (単体):

セキュリティ機器の販売が商談遅延の影響を受け低調に推移しましたが、金融機関向け貨幣処理機器の販売が概ね順調だったため、前年同期実績を若干上回りました。

● 選挙システム機材 (単体):

全国の地方選挙および4月に実施される統一地方選挙向けに投票用紙交付機や計数機などの機器のほか、投開票管理システムの販売が好調に推移しました。しかしながら、2017年10月に実施された衆議院選挙向け需要の反動減の影響で、前年同期実績を大幅に下回りました。

単体

(百万円以下切捨)

		2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017年4月~12月)	2019年3月期 第3四半期累計実績 (2018年4月~12月)	差異	増減率
情報・産業 システム機材		43億8200万円	45億2200万円	1億4000万円増	3.2%増
印刷システム機材		89億7800万円	86億6700万円	3億1100万円減	3.5%減
金融汎用 システム機材		14億6300万円	16億100万円	1億3800万円増	9.4%増
選挙システム機材		40億8700万円	20億4700万円	20億4000万円減	49.9%減
紙・紙加工品		41億8100万円	38億9100万円	2億9000万円減	6.9%減
売上高合計		230億9400万円	207億3000万円	23億6400万円減	10.2%減

2019年3月期 通期業績見通し (2019年2月5日発表)

第3四半期決算の発表時点において、通期業績予想に修正はありません。
前年比で微増収・減益の見込みです。

連結売上高:「紙・紙加工品」において、新子会社の業績算入効果により微増収の見通しです。

連結純利益:「選挙システム機材」において、全国の地方選挙および4月の統一地方選挙向け販売が好調に推移することを見込むものの、衆議院選挙が実施(2017年10月)された前期需要の反動減の影響を大きく受け減益の見通しです。

(百万円以下切捨)

連結		2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
	売上高	372億9800万円	374億2300万円	1億2500万円増	0.3%増
営業利益	9億6000万円	3億8800万円	5億7200万円減	59.6%減	
経常利益	10億5900万円	4億5200万円	6億700万円減	57.3%減	
純利益	7億4200万円	2億9100万円	4億5100万円減	60.8%減	
1株当り純利益	99円70銭	39円09銭	*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。		

(百万円以下切捨)

単体		2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
	売上高	311億400万円	294億800万円	16億9600万円減	5.5%減
営業利益	4億500万円	1億4600万円	2億5900万円減	64.0%減	
経常利益	5億8300万円	2億4800万円	3億3500万円減	57.5%減	
当期純利益	4億9800万円	2億5000万円	2億4800万円減	49.8%減	
1株当り純利益	66円92銭	33円59銭			

事業セグメント別見通し対比

連結

(百万円以下切捨)

	2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	215億4100万円	217億6200万円	2億2100万円増	1.0%増
金融汎用・選挙システム機材	70億1800万円	53億6400万円	16億5400万円減	23.6%減
紙・紙加工品	85億3100万円	100億5500万円	15億2400万円増	17.9%増
不動産賃貸・リース事業等	2億500万円	2億4100万円	3600万円増	17.6%増
売上高合計	372億9800万円	374億2300万円	1億2500万円増	0.3%増

単体

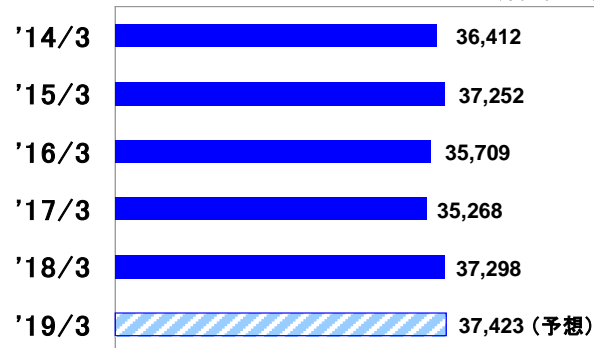
(百万円以下切捨)

	2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
情報・産業システム機材	62億9300万円	67億9900万円	5億600万円増	8.0%増
印刷システム機材	122億6900万円	119億9000万円	2億7900万円減	2.3%減
金融汎用システム機材	21億8600万円	24億800万円	2億2200万円増	10.2%増
選挙システム機材	48億2900万円	29億1200万円	19億1700万円減	39.7%減
紙・紙加工品	55億2600万円	52億9700万円	2億2900万円減	4.1%減
売上高合計	311億400万円	294億800万円	16億9600万円減	5.5%減

業績の推移(連結)

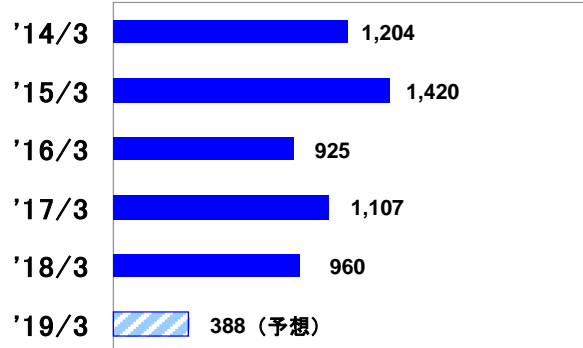
売上高

(単位:百万円)



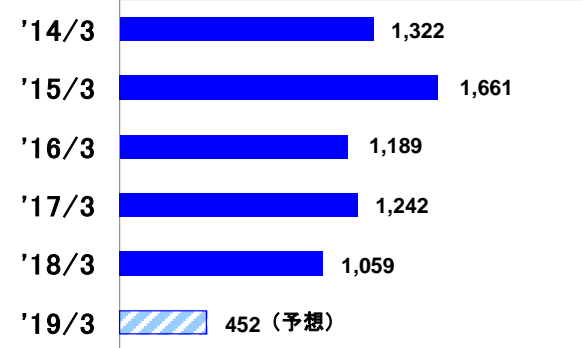
営業利益

(単位:百万円)



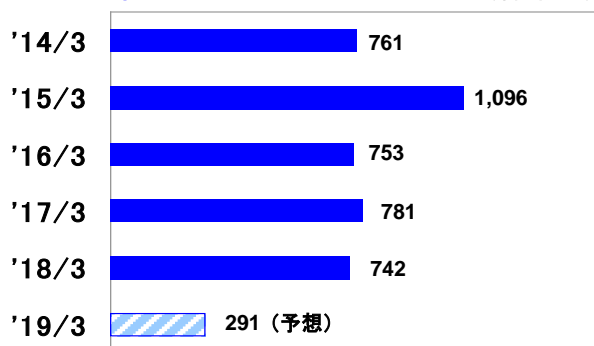
経常利益

(単位:百万円)



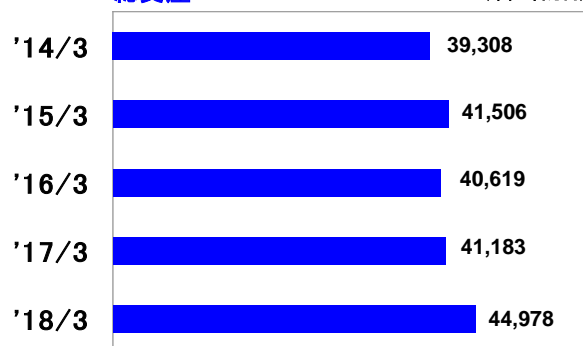
純利益

(単位:百万円)



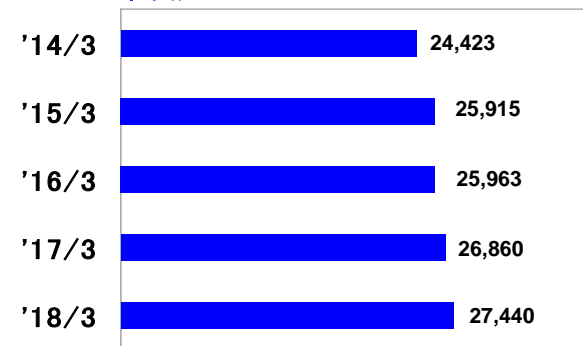
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3
自己資本比率	62.1%	62.4%	63.9%	65.2%	61.0%
1株当り当期純利益	100.60円	147.24円	101.18円	105.03円	99.70円
ROE	3.1%	4.4%	2.9%	3.0%	2.7%
ROA	3.3%	4.1%	2.9%	3.0%	2.5%

会社概要

商号	株式会社 ムサシ
証券コード	7521
上場	ジャスダック市場 (1996年10月上場)
本社	東京都中央区銀座8-20-36
設立	1946年12月
代表者	代表取締役社長 羽鳥 雅孝
従業員	連結577名/単体221名(2018年3月31日現在)
関係会社数	子会社9社, 関連会社1社
HPアドレス	https://www.musashinet.co.jp



- 本社** 東京都中央区銀座
- 販売拠点** 全国に11支店、7営業所
- 生産拠点** 武蔵エンジニアリング(株) 横浜工場
- テクニカルサポート** ムサシ・フィールド・サポート(株) 全国59ヶ所

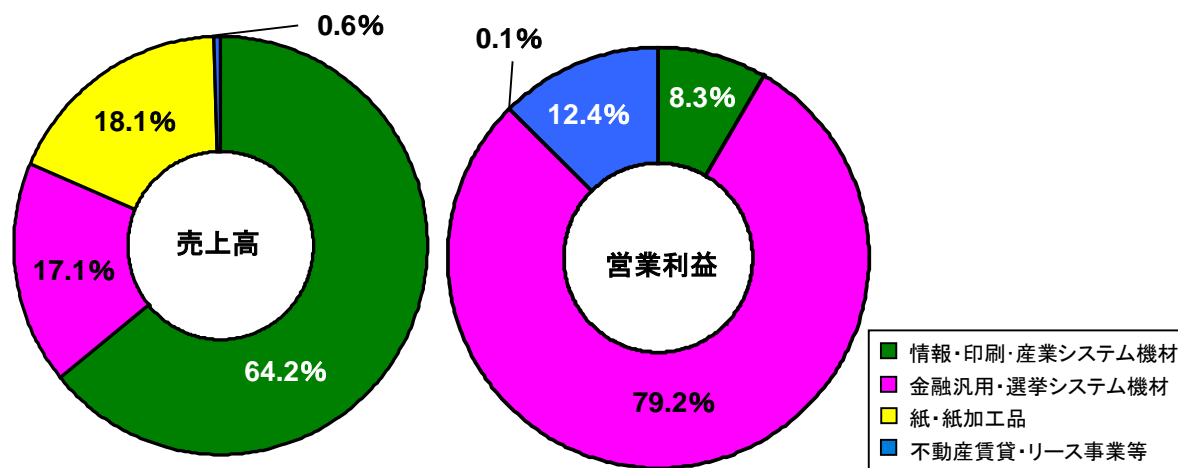


代表取締役社長 羽鳥雅孝

社長メッセージ

事業別構成

(5期平均：14年3月期～18年3月期)



当社の強み

- 収益基盤の多様化**
一つの事業の伸び悩みを他の事業が補完し、安定して収益を確保
- メーカー機能を併せ持つ**
商社である一方、子会社に設計・製造メーカーをもち、独自の商品開発機能を兼ね備える。
商品やシステムの企画・開発から設計・製造、販売、ソフト・技術サポートまでの一貫したサービスを提供。
- 安定した財務基盤**

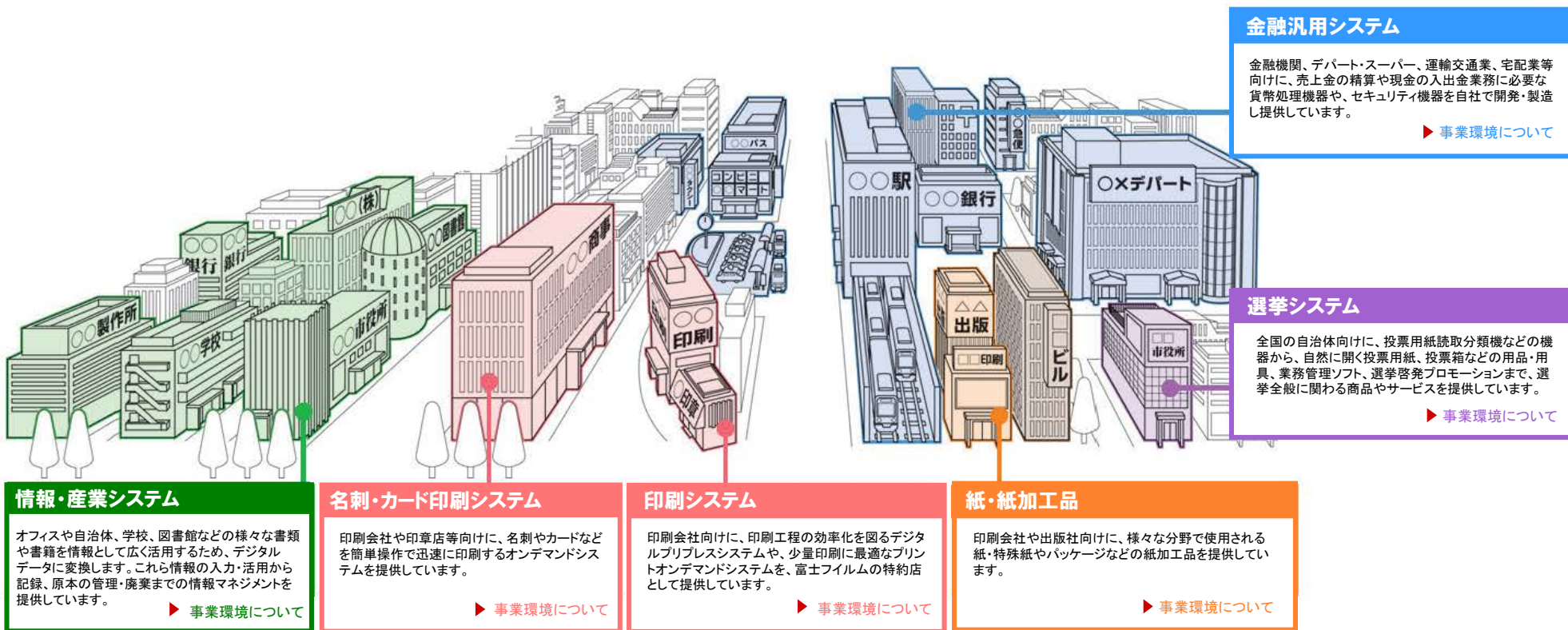
〔基本方針〕

- **本業に徹しながら時代の流れや変化に対応し、
取扱商品・サービス内容を変えていく。
同時に本業の周辺分野に新しい事業開拓の芽を見出す。**

〔中期戦略〕

- **業績が特需によって左右されない体制の確立を目指し、
「新規事業の開発」や「新商品の開発」を強化する。**

- 「事業環境について」をクリックすると、
事業環境の詳細ページに移動します。



情報・産業システム
オフィスや自治体、学校、図書館などの様々な書類や書籍を情報として広く活用するため、デジタルデータに変換します。これら情報の入力・活用から記録、原本の管理・廃棄までの情報マネジメントを提供しています。
▶ 事業環境について

名刺・カード印刷システム
印刷会社や印章店等向けに、名刺やカードなどを簡単操作で迅速に印刷するオンデマンドシステムを提供しています。
▶ 事業環境について

印刷システム
印刷会社向けに、印刷工程の効率化を図るデジタルプリプレスシステムや、少量印刷に最適なプリントオンデマンドシステムを、富士フィルムの特約店として提供しています。
▶ 事業環境について

紙・紙加工品
印刷会社や出版社向けに、様々な分野で使用される紙・特殊紙やパッケージなどの紙加工品を提供しています。
▶ 事業環境について

金融汎用システム
金融機関、デパート・スーパー、運輸交通業、宅配業等向けに、売上金の精算や現金の入出金業務に必要な貨幣処理機器や、セキュリティ機器を自社で開発・製造し提供しています。
▶ 事業環境について

選挙システム
全国の自治体向けに、投票用紙読取分類機などの機器から、自然に開く投票用紙、投票箱などの用品・用具、業務管理ソフト、選挙啓発プロモーションまで、選挙全般に関わる商品やサービスを提供しています。
▶ 事業環境について

● 知りたい情報をクリックすると、ホームページの該当ページに移動します。

社長メッセージを見る



IRニュースを見る

注目商品情報

・小ロットのシール・ラベルプリンター「EDGE850」



・新構造物の画像診断サービス「ひびみつけ」



①写真を撮る



②クラウドにアップロード



③画像を自動合成し、
チョークやひびを自動検出

ムサシの歴史を見る



他のIR資料を見る



株式会社ムサシ 広 報 室

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目20番36号

TEL: 03-3546-7710(直通)

FAX: 03-3546-7831

E-mail : ir@musashinet.co.jp